保守点検

安全にご使用いただくために、凍結シーズン前には必ず点検してください。

- 傷、変形、ひび割れ、変色、その他異常がある場合は、使用はやめ、ヒータを交換してください。
- 漏電ブレーカが正常に動作するか、テストボタンを押して確認してください。（漏電ブレーカが正常に動作しますと、ブレーカが切になり停電しますのでご注意ください。）
- ヒータや通電表示灯部が、落ち葉やゴミ、泥などで覆われていないことを確認してください。また、排水口などの詰まりを取り除いてください。

修理保証

1. 取扱説明書に従った取付け方法および使用方法で、施工日より1年以内に故障した場合には確認後、同等品と交換致します。
2. 保証の対象範囲は製品本体とします。
3. 適用の除外
   保証の期間内において、次の場合は適用除外とし有料修理となります。
   イ）取扱説明書に明示した以外の施工方法、使用方法による故障及び損傷。
   ロ）お買上げ後の落下、輸送、取扱上の不注意に起因する故障及び損傷。
   ハ）火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変や異常電圧による故障及び損傷。
   ニ）本書の提示がない場合。

型　　式	雨樋・排水路ヒータ　EA-Uシリーズ
施 工 日	年　　月　　日
施工業者	

※ご不明な点がございましたら当社「ご相談窓口」までお問い合わせください。

ご相談窓口

ホットな暮らしをつくる
日本電熱株式会社

営業グループ　〒399-8293　長野県安曇野市豊科500番地　☎ 0263 (72) 3231（代表）
仙台出張所　〒984-0015　宮城県仙台市若林区卸町2丁目2-1パックス第2ビル1F　☎ 022 (782) 0577（代表）

http://www.nichinetu.co.jp

0904-808050101

自己温度制御型　雨樋・排水路ヒータ

取　扱　説　明　書

AC100V用 EA-Uシリーズ

この度は雨樋・排水路ヒータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

●この商品を安全に正しく使用していただくために、この取扱説明書を最後までお読みのうえ大切に保管してください。

自己温度制御型とは

自己温度制御型ヒータは特殊プラスチックに導電性カーボンを混和した抵抗体を使用しています。ヒータの温度変化によって特殊プラスチックが熱膨張収縮し、分散しているカーボン粒子間の距離が変わるため、温度変化に応じて発熱量が増減します。

もくじ　　ページ

- 安全のために必ずお守りください …… 2.3
- 各部のなまえと仕様 …… 3
- 取付け方法 …… 4.5
- ご使用方法 …… 5
- 保守点検 …… 裏表紙
- 修理保証 …… 裏表紙

お願い

- 電気器具ですので、ご使用方法により短期間で故障する場合もあります。必要なときに点検および交換できる場所へ取付けてください。
- 通電表示灯部にはサーモスタットが内蔵されていますので、強い衝撃を与えないように取扱ってください。

日本電熱株式会社

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は差込プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

⚠ 警告

■絶対に分解したり、修理・改造しない

分解禁止

異常動作して、火災や感電の原因になります。
- 修理は当社「ご相談窓口」までご相談ください。

■雨樋や排水路の凍結防止以外には使用しない

禁　止

異常動作して、火災や感電の原因になります。

■漏電ブレーカを使用する

必ず守る

故障時に火災や感電の原因になります。
- 漏電ブレーカが設置されている回路で使用してください。
（漏電ブレーカの設置は電気工事店にご相談ください。）

■接地工事を行う

アース線接続

故障時に火災や感電の原因になります。
- D種接地工事を施してある防水コンセント（アースターミナル付）などにより、差込プラグのアース線を接地してください。

■ヒータに傷を付けない

禁　止

感電や漏電、故障の原因になります。
- 特にヒータを雨樋や排水路に取付ける時に、傷を付けないように注意してください。

■電源プラグを雨露にさらさない

禁　止

電源プラグが劣化して、感電や漏電の原因になります。

⚠ 注意

■ヒータをねじったり、強く引っ張ったり、鋭角に折り曲げない

禁　止

抵抗体が損傷し発熱機能が損なわれる原因になります。

■通電表示灯部を雪に埋もれたり直射日光の当たる場所に取付けない

禁　止

内蔵のサーモスタットが正しい外気温度を検知できず、雨樋や排水路が凍結する原因になります。

■凍結前に通電を開始する

凍結前に通電

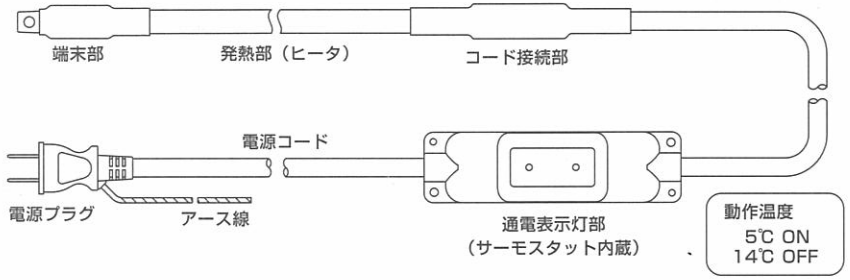
氷を溶かしきれず、雨樋や排水路を傷める原因になったり、つららができる原因になります。

■保守点検および交換のできない場所へは取付けない

禁　止

ヒータを傷付けたり、劣化したことに気づかず、凍結の原因になります。

各部のなまえと仕様



形　式	長　さ	定格消費電力
EA−U03P1	3.2m	100V−103W
EA−U04P1	4.0m	100V−128W
EA−U05P1	5.0m	100V−160W
EA−U06P1	6.0m	100V−192W
EA−U08P1	8.0m	100V−256W
EA−U10P1	10.0m	100V−320W
EA−U12P1	12.0m	100V−384W
EA−U15P1	15.0m	100V−480W

- 通電表示灯付きです。
（通電表示灯部にサーモスタットが内蔵されています。）

赤ランプ：電源プラグをコンセントに差し込むと点灯します。
緑ランプ：サーモスタットがONのときに点灯します。

自己温度制御型ヒータの消費電力は、ご使用いただく環境、施工状態により変化します。

取付け方法

1.取付け前の確認

雨樋・排水路ヒータを取付ける場所と、ブレーカ容量の確認をしてください。

〈取付け場所〉

凍結防止しようとする場所の長さに合わせて、雨樋・排水路ヒータを選定してください。

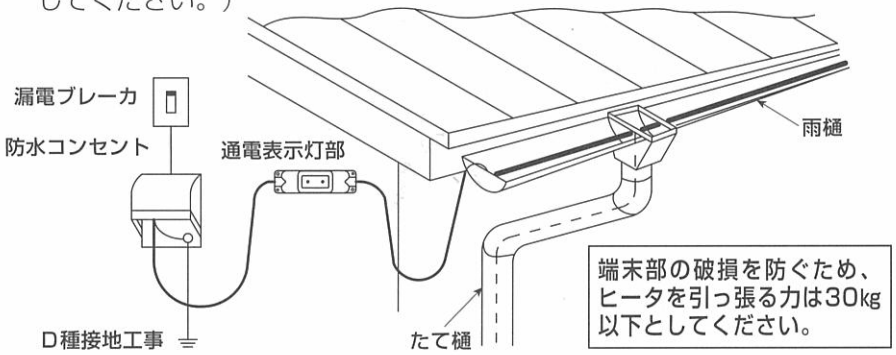
- 雨樋のつららを防止しようとする時は、雨樋だけではなく、たて樋にもヒータを入れてください。（たて樋が凍結して排水ができず、雨樋の凍結や、つららができる原因になります。）

〈ブレーカ容量〉

雨樋・排水路ヒータを使用する回路の、漏電ブレーカの容量を確認してください。
ブレーカ容量の選定目安は0.4A/m です。
例）10mの雨樋・排水路ヒータを、同じ回路で5本使用する場合のブレーカ容量は　0.4A/m ×10m × 5本＝20A となります。

2.ヒータを取付ける

- 雨樋の底にヒータを添わせるように入れます。
- たて樋への施工時は、事前にヒータ通線用のメッセンジャワイヤをたて樋に通します。メッセンジャワイヤをヒータ端末部に取付けて、ヒータを引き出してください。（ヒータがたて樋の端から出ていることを確認してください。）



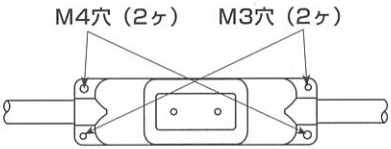
ご注意

- 特にたて樋への施工時には、ヒータを無理に引っ張らないでください。ヒータに傷がつくおそれがあります。
（メッセンジャワイヤを使用してもうまく施工できない時は、たて樋を一度外して施工してください。）

3.通電表示灯部を取付ける

通電表示灯部を、軒下など直射日光が当たらず、雪に埋もれない場所に設置してください。

- 通電表示灯部に取付け用穴（M3×2ヶ、M4×2ヶ）があります。ネジ止めや針金等を使用して固定する時に使用してください。



ご注意

- 通電表示灯部に直射日光が当たったり、雪に埋もれたりしますと、外気温度を正しく検知することができず、雨樋や排水路が凍結する原因になります。
- 通電表示灯部にはサーモスタットが内蔵されていますので、ていねいに取り扱ってください。

4.アース線を接地する

アース線を、防水コンセントのアースターミナルに接続します。

- 防水コンセントにアースターミナルがないなど、アース線を接地できない場合は、電気工事店にご相談ください。

ご使用方法

電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む

- 通電表示灯部の電源ランプ（赤色）が点灯します。
- 通電表示灯部に内蔵されたサーモスタットが外気温度を感知して、通電が必要な時にヒータへ通電します。
  ヒータへ通電している時は、通電ランプ（緑色）が点灯します。

お知らせ

- 通電表示灯部に内蔵されたサーモスタットは、外気温度を検知するためのものです。ヒータの温度を検知するものではありません。
  （ヒータの温度は自己温度制御機能により一定に保たれます。）
- 雨樋が凍結してから通電を開始しても性能を十分に発揮することができませんので、凍結する時期になりましたら早めに電源プラグをコンセントへ差し込んでください。
- 凍結シーズンが終わりましたら、必ず漏電ブレーカを切（OFF）にしてください。